

## 高石商工会議所景気観測調査 2020年7月調査

(調査概要)

- 調査対象: 高石市内 57 社(業種内訳 製造業11社、建設業10社、小売業・卸売業14社、飲食業10社、サービス業12社)
- 調査時期: 2020年7月
- 調査項目: 売上高、採算、従業員(人手)状況、業況、資金繰り
- 調査方法: 「FAX、インターネットによる回答」・「職員による調査票に基づくヒアリング」

(全体)



売上高		業況		資金繰り	
増加	6	好転	2	好転	4
不変	10	不変	19	不変	33
減少	41	悪化	35	悪化	20

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、すべての業種で**売上高の減少**及び**業況感が悪化**しており、それに伴い**資金繰りも悪化**している。そしてその傾向は今後も続くと予測されている。**持続化給付金等の支援策**や**融資の活用**によりまずは経営の安定化を図り、**持続化補助金等**を活用して**ウィズコロナを前提とした事業構築**への取り組みを進めたい。

(製造業)



売上高		業況		資金繰り	
増加	0	好転	0	好転	0
不変	1	不変	1	不変	6
減少	10	悪化	10	悪化	5

売上高が30～50%減少した事業所が多く、**業況も悪化し回復の見通しも立っていない**。資金繰り表などを活用して**数ヶ月先までの状況を把握**するとともに、ウィズコロナに対応するために**ものづくり補助金を活用**するなど、経営改善への取り組みを進めたい。

(建設業)



売上高		採算		資金繰り	
増加	1	好転	0	好転	1
不変	4	不変	6	不変	8
減少	5	悪化	4	悪化	1

売上は減少傾向であり採算も悪化している。資金繰りは比較的安定しているが、先行きは懸念されており、今後業況がさらに悪化する可能性がある。数ヶ月先も含めた資金繰りを注視するとともに、必要に応じて融資も含めた支援策の活用を検討したい。

(小売・卸業)



売上高		採算		業況	
増加	2	好転	1	好転	1
不変	2	不変	4	不変	5
減少	10	悪化	8	悪化	7

自社だけでなく仕入先などの取引先の影響も受けており、売上高も減少するなど業況が悪化している。先行きもさらに悪化が続くとの予測であり、今後も厳しい状況が続くと考えられる。店舗だけでなくネット販売を追加するなど販売ルートの多様化などで売上を確保する例もあり、持続化補助金の活用などによる新たな取り組みも進めたい。

(飲食業)



売上高		採算		業況	
増加	0	好転	0	好転	0
不変	0	不変	1	不変	2
減少	10	悪化	9	悪化	8

すべての事業所で売上高が減少するなどコロナ禍の影響を最も受けており、先行きも好転するという予測はたっていない。今後展開される国の支援策(ex.GoTO イート)の活用や、持続化補助金を活用してテイクアウトなど非対面型ビジネスモデルへの転換も検討したい。

(サービス業)



売上高		採算		業況	
増加	3	好転	2	好転	1
不変	3	不変	2	不変	4
減少	6	悪化	8	悪化	7

売上高を確保している事業所もあるが、全体的には厳しい状況である。先行きはさらに悪化するとの予測であり、コロナ禍の状況に応じた取り組みは必須である。感染防止宣言ステッカーなどで顧客に安心を届けるとともに、持続化補助金を活用した非対面型ビジネスモデルへの転換も検討したい。